

初版(2019年11月21日作成)

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：検体処理液

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：免疫測定用の検体の前処理、希釈

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社情報：日本ハム株式会社

大阪市北区梅田二丁目4番地9号ブリーゼタワー

連絡先：日本ハム株式会社中央研究所

茨城県つくば市緑ヶ原三丁目3番地

電話番号：029-847-7817/FAX：029-847-7824

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

生殖毒性:区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2

(注)記載なきGHS分類区分:該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法官報 公示番号	安衛法官報 公示番号
ホウ酸	10043-35-3	1 - 10	1-63	N/A
水酸化ナトリウム	1310-73-2	< 1	1-410	1-410
アジ化ナトリウム	26628-22-8	< 0.1	1-482	N/A

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に記載されていません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

ホウ酸

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

ホウ酸

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

この製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤データなし

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避データなし

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

(ホウ酸)

ACGIH(2004) TWA: 2mg/m³(l);

STEL: 6mg/m³(l) (上気道刺激)

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：透明 - 淡黄色

臭い：無臭

pH：中性

沸点又は初留点：データなし

融点/凝固点：データなし

分解温度データ：なし

可燃性(ガス、液体及び固体)：不燃性

引火点：適用外

自然発火点：適用外

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：適用外

蒸気圧データ：なし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

密度及び/又は相対密度：データなし

動粘性率：データなし

溶解度：

水に対する溶解度：混和する

溶媒に対する溶解度：データなし

n-オクタノール/水分配係数：データなし

粒子特性：適用外

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

反応性

反応性データなし

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性：データなし

避けるべき条件

避けるべき条件：データなし

混触危険物質

混触危険物質：データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物：データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(ホウ酸)

rat LD50=2660-5140mg/kg (NITE初期リスク評価書, 2008)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(ホウ酸)

モルモット/ラビット 軽度から中等度の皮膚刺激性 (PATTY 6th, 2012)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]
 (ホウ酸)
 ヒト 刺激性 (ACGIH 7th, 2005et al)
 呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
 生殖細胞変異原性データなし
 発がん性
 (ホウ酸)
 ACGIH-A4(2004): ヒト発がん性因子として分類できない
 (アジ化ナトリウム)
 ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない
 生殖毒性
 [日本公表根拠データ]
 (ホウ酸)
 cat. 1B; NTP DB, 2013
 催奇形性データなし
 特定標的臓器毒性
 特定標的臓器毒性(単回ばく露)
 [区分1]
 [日本公表根拠データ]
 (ホウ酸)
 消化管、中枢神経系 (ACGIH 7th, 2005)
 [区分3(気道刺激性)]
 [日本公表根拠データ]
 (ホウ酸)
 気道刺激性 (ECETOC TR 63, 1995)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
 誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
 水生環境有害性
 水生環境有害性 短期(急性) 成分データ
 [日本公表根拠データ]
 (ホウ酸)
 藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) ErC50=290mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2008)
 (アジ化ナトリウム)
 藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) ErC50=0.348mg/L/96hr (Aquire, 2010)
 水生環境有害性 長期(慢性) 成分データ
 [日本公表根拠データ]
 (ホウ酸)
 魚類 (ニジマス) NOEC=2.1mg/L/87days (環境省リスク評価第6巻, 2008)
 水溶解度
 (ホウ酸)
 5 g/100 ml (PHYSROP_DB, 2005)
 (水酸化ナトリウム)
 109 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2010)
 (アジ化ナトリウム)
 よく溶ける (41.7 g/100 ml, 17°C) (ICSC, 2014)
 残留性・分解性
 (アジ化ナトリウム)
 直接測定(HPLC)による分解度: 1% (既存点検)
 生体蓄積性

(ホウ酸)

log Pow=-1.09 (ICSC, 2014)

(アジ化ナトリウム)

log Pow <= 0.3 (Check & Review, Japan)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類に該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない

IATA 航空危険物規則書に該当しない

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

ホウ酸(別表第9の544)

名称通知危険/有害物

ホウ酸(別表第9の544)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

ホウ酸(中環審第9次答申の221)

土壤汚染対策法

第二種特定有害物質 重金属等

ホウ酸

政令番号24:

含有量 <= 4000 mg/kg

溶出量 <= 1 mg/liter

第二溶出量 <= 30 mg/liter

地下水 <= 1 mg/liter

土壌環境 ≤ 1 mg/liter
水質汚濁防止法
有害物質
ホウ酸
法令番号 24: 海域以外 C 10mg/liter, 海域 C 230mg/liter

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 : 2019
JIS Z 7252 : 2019
2018 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度)です。